



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マースエンジニアリング
コード番号 6419 URL <http://www.mars-eng.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松波 明宏

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 佐藤 敏昭

TEL 03-3352-8555

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	5,850	△6.1	1,076	△22.2	1,068	△25.9	490	△40.6
23年3月期第1四半期	6,232	△21.5	1,384	△37.5	1,440	△35.1	826	△35.4

(注)包括利益 24年3月期第1四半期 355百万円 (△47.7%) 23年3月期第1四半期 680百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	26.62	—
23年3月期第1四半期	44.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	55,151	39,419	71.5	2,136.99
23年3月期	56,827	39,617	69.7	2,147.72

(参考)自己資本 24年3月期第1四半期 39,419百万円 23年3月期 39,617百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,770	△0.4	2,069	△26.5	2,140	△29.8	1,080	1.0	58.55
通期	28,000	4.9	4,980	△10.6	5,100	△10.4	2,800	30.1	151.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	22,720,000 株	23年3月期	22,720,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	4,273,831 株	23年3月期	4,273,815 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	18,446,181 株	23年3月期1Q	18,446,216 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、3月11日に発生した東日本大震災に伴う地震や津波により直接的な被害を受け、サプライチェーンの寸断や個人消費マインドの低迷など深刻な影響を招いた他、長期化する原発問題による電力供給の制約が、企業の生産活動を抑制するなど、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの主要販売先であるパチンコ業界は、震災や電力不足の影響を受けて、遊技機入替の自粛や営業時間の短縮を実施し、節電に配慮した営業活動に努めてまいりました。

このような厳しい状況の中、開発型企业グループである当社グループは開発・製造・販売・アフターサービスを一貫して行い、多様化する顧客ニーズに適した製品の開発に重点を置くとともに、充実したサービス体制で付加価値の向上に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高58億50百万円（前年同四半期比6.1%減）、営業利益は10億76百万円（同22.2%減）、経常利益は10億68百万円（同25.9%減）、四半期純利益は4億90百万円（同40.6%減）となりました。

セグメントの実績は次のとおりであります。なお、セグメント別の売上高及び営業損益については、セグメント間の取引を相殺消去しております。

[アミューズメント関連事業]

(プリペイドカードシステム)

集客のために玉積み演出が主流となっているパチンコ業界において、当社グループは従業員の玉積み・玉運び業務をなくし、少人数で効率的なホール運営ができる「パーソナルPCシステム（以下、「パーソナル」という。）」を主力システムとして拡販し、業界の新しい標準となるべく推進してまいりました。

玉積み・玉運び業務をしないパーソナルは業界内だけでなく、遊技ファンにも認知されてきており、競合他社も含めた各台数システムの市場シェアは拡大傾向にあります。値引き競争が激化する中で、当社グループは顧客ニーズに合わせて選択できる製品ラインアップや機能性、きめ細かな対応とサービス体制で付加価値を高め、差別化を図って販売を展開いたしました。

販売促進の一環として開催した展示会は、現場で働く方々にもパーソナルをはじめ、景品管理システム、Air紙幣搬送システム「HAYATE疾風」などトータルシステムの良さを理解していただくために、北は札幌から南は鹿児島まで全国9箇所で開催し、各会場に来場されたパチンコホール関係者には、各システムを体感していただきました。

この結果、当第1四半期連結累計期間のパーソナルの売上実績は24店舗、発売以来の累計導入（実稼動）店舗数は当四半期連結会計期間末時点で817店舗となりました。また、パーソナルを含めたサイクルカードシステムの売上実績は44店舗、導入（実稼動）店舗数は累計2,098店舗（市場シェア21.5%）となりました。

この結果、当システムの個別売上高は27億69百万円となりました。

(景品管理システム)

パイオニアとして、高いブランド力とシェアを誇る景品管理システムは、プリペイドカードシステムをはじめ、他のシステムと連動し、遊技ファンの利便性やセキュリティの向上を図ることができ、当社ユーザーを中心に提案販売を行ってまいりました。

この結果、当システムの個別売上高は3億10百万円となりました。

(RFID)

アミューズメント業界で長年、技術とノウハウを積み重ねてきたRFIDは、業界を問わず様々なビジネスシーンでの活用が可能であり、医療や教育、図書館等、あらゆる分野の展示会に出展し、新しい市場を模索してまいりました。当第1四半期連結累計期間においては、RFIDソリューションに関係する展示会に出展し、実績のある健診・人間ドック向けデータ収集システム「健診ステーション」、ICカードタイムレコーダー「クロノステーション」、少人数での店舗運営をサポートする「非接触ICカード多機能端末」などを展示いたしました。

市場を問わず、販売を展開してまいりました結果、RFIDの個別売上高は、2億15百万円となりました。

その他品目の個別売上高を合計しました結果、アミューズメント関連事業の個別売上高は56億90百万円（前年同四半期比6.9%減）となり、営業利益は12億91百万円（前年同四半期比7.7%減）となりました。

[ホテル関連事業]

観光業においては、震災の影響で個人消費マインドが低迷し、観光を自粛する傾向にあり、外国人観光客も激減していることから、ホテルの経営環境は厳しい状況となりました。

福岡市博多区で運営するホテルサンルート博多は、JR博多駅に近い立地の良さと同ホテルチェーンの中で表彰される程の質の高いサービスが評価され、多くのリピーターにご利用いただきました。

静岡県御殿場市のマースガーデンウッド御殿場は、昨年10月に開業後、認知度の低さをフォローするため、テレビCMを実施し、認知度とブランドの向上を図ってまいりました。また、マーケティングリサーチに基づき、様々な新プランを提案し、稼働率の向上を図ってまいりました。

この結果、ホテル関連事業の個別売上高は1億59百万円（前年同四半期比33.9%増）となり、営業損失は2億15百万円（前年同四半期は15百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は551億51百万円となり、前連結会計年度末と比較して16億76百万円減少いたしました。

流動資産は348億80百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億25百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、営業貸付金が14億60百万円減少し17億49百万円となりました。

固定資産は202億71百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億50百万円減少いたしました。

流動負債は103億31百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億9百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、未払法人税等が11億25百万円減少し3億48百万円となりました。

固定負債は54億円となり、前連結会計年度末と比較して3億69百万円減少いたしました。

純資産は394億19百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億98百万円減少いたしました。

自己資本比率は71.5%となり、前連結会計年度末と比較して1.8ポイント増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は140億93百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億45百万円増加いたしました。

当第1四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は18億80百万円の収入（前年同期は4億26百万円の収入）となりました。主な増加要因は、営業貸付金の減少額14億60百万円、売上債権の減少額13億60百万円等によるものです。また、主な減少要因は、法人税等の支払額15億28百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は53百万円の支出（前年同期は5億40百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出10百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は4億79百万円の支出（前年同期は4億85百万円の支出）となりました。主な要因は、配当金の支払額4億79百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,111,938	10,456,860
受取手形及び売掛金	8,576,171	7,215,221
リース投資資産	5,560,704	5,157,022
有価証券	4,086,083	4,086,717
商品及び製品	2,490,107	2,992,777
仕掛品	41,609	81,391
原材料及び貯蔵品	1,801,518	1,765,669
その他	4,610,687	3,182,795
貸倒引当金	△72,932	△58,112
流動資産合計	36,205,889	34,880,344
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,409,431	8,315,971
土地	5,249,075	5,249,075
その他(純額)	626,560	557,703
有形固定資産合計	14,285,067	14,122,750
無形固定資産		
その他	216,909	205,966
無形固定資産合計	216,909	205,966
投資その他の資産		
その他	6,304,104	6,125,756
貸倒引当金	△184,247	△183,323
投資その他の資産合計	6,119,856	5,942,433
固定資産合計	20,621,834	20,271,150
資産合計	56,827,724	55,151,494
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,312,786	2,356,642
リース債務	2,302,721	2,221,367
未払法人税等	1,473,816	348,203
賞与引当金	402,397	208,960
その他	4,949,089	5,196,427
流動負債合計	11,440,811	10,331,601
固定負債		
リース債務	3,896,985	3,507,526
退職給付引当金	57,026	71,283
役員退職慰労引当金	542,395	549,295
負ののれん	8,098	4,049
資産除去債務	14,402	14,479
その他	1,250,786	1,254,047
固定負債合計	5,769,695	5,400,681
負債合計	17,210,506	15,732,282

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	8,371,830	8,371,830
利益剰余金	32,846,579	32,784,188
自己株式	△9,261,529	△9,261,550
株主資本合計	39,890,979	39,828,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△280,901	△416,597
繰延ヘッジ損益	7,139	7,241
その他の包括利益累計額合計	△273,762	△409,356
純資産合計	39,617,217	39,419,212
負債純資産合計	56,827,724	55,151,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	6,232,111	5,850,285
売上原価	2,987,396	2,789,353
売上総利益	3,244,715	3,060,932
販売費及び一般管理費	1,860,119	1,984,380
営業利益	1,384,595	1,076,552
営業外収益		
受取利息	1,071	1,106
受取配当金	42,114	37,699
負ののれん償却額	4,049	4,049
その他	22,625	35,986
営業外収益合計	69,860	78,841
営業外費用		
持分法による投資損失	12,145	85,370
その他	1,522	1,735
営業外費用合計	13,667	87,105
経常利益	1,440,788	1,068,287
特別損失		
固定資産除却損	868	141
投資有価証券評価損	—	12,000
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,745	—
特別損失合計	6,614	12,141
税金等調整前四半期純利益	1,434,173	1,056,146
法人税、住民税及び事業税	400,630	419,813
法人税等調整額	206,799	145,337
法人税等合計	607,430	565,151
少数株主損益調整前四半期純利益	826,743	490,994
四半期純利益	826,743	490,994

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	826,743	490,994
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△156,054	△141,485
持分法適用会社に対する持分相当額	9,346	5,891
その他の包括利益合計	△146,708	△135,594
四半期包括利益	680,035	355,400
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	680,035	355,400

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,434,173	1,056,146
減価償却費	83,730	159,598
負ののれん償却額	△4,049	△4,049
引当金の増減額(△は減少)	△192,648	△188,023
受取利息及び受取配当金	△43,186	△38,805
持分法による投資損益(△は益)	12,145	85,370
固定資産除却損	868	141
投資有価証券評価損益(△は益)	—	12,000
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,745	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,941,430	1,360,949
リース投資資産の増減額(△は増加)	△142,437	427,649
たな卸資産の増減額(△は増加)	△211,494	△506,603
営業貸付金の増減額(△は増加)	△651,517	1,460,652
仕入債務の増減額(△は減少)	△77,270	43,856
リース債務の増減額(△は減少)	92,958	△470,813
前受金の増減額(△は減少)	△490,799	△325,211
その他	58,487	296,833
小計	1,816,135	3,369,689
利息及び配当金の受取額	43,186	39,181
法人税等の支払額	△1,432,631	△1,528,161
営業活動によるキャッシュ・フロー	426,691	1,880,709
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△129,624	△10,818
投資有価証券の取得による支出	△400,971	△7,083
貸付金の回収による収入	13,000	—
その他	△23,156	△35,552
投資活動によるキャッシュ・フロー	△540,752	△53,453
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△51	△20
配当金の支払額	△485,257	△479,966
財務活動によるキャッシュ・フロー	△485,308	△479,986
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,730	△1,734
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△601,101	1,345,535
現金及び現金同等物の期首残高	14,487,990	12,747,852
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,886,889	14,093,387

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズメント 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高					
外部顧客への売上 高	6,112,641	119,470	6,232,111	—	6,232,111
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	481	47	528	△528	—
計	6,113,122	119,517	6,232,640	△528	6,232,111
セグメント利益 又は損失(△)	1,399,743	△15,976	1,383,766	828	1,384,595

(注) 1. セグメント利益の調整額828千円には、セグメント間取引消去828千円が含まれております。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズメント 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高					
外部顧客への売上 高	5,690,358	159,926	5,850,285	—	5,850,285
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1,254	94	1,348	△1,348	—
計	5,691,613	160,021	5,851,634	△1,348	5,850,285
セグメント利益 又は損失(△)	1,291,722	△216,998	1,074,723	1,828	1,076,552

(注) 1. セグメント利益の調整額1,828千円には、セグメント間取引消去1,828千円が含まれております。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。
- (7) 重要な後発事象
該当事項はありません。